

『 土地評価の基本と見えない落とし穴 』

～ 活字では見えてこない土地評価の勘所とストライクゾーン ～

講演内容

- 【1】現況地目の判定とその判断要素
- 【2】評価単位(利用単位)における見えない落とし穴
- 【3】不整形地における奥行距離と評価上の留意点
- 【4】側方路線・二方路線の捉え方と加算率の調整計算
- 【5】間違えやすい・見落としやすい宅地の評価補正等
- 【6】市街地農地等の宅地造成費の捉え方と控除額
- 【7】倍率地域に存する土地の捉え方と評価上の留意点
- 【8】貸家建付地の評価上の留意点と見えない落とし穴
- 【9】利用価値が著しく低下している宅地の評価等

税理士 宮田泰夫

昭和30年生まれ
大阪府茨木市出身
関西大学経済学部卒業
民間企業勤務の傍ら税理士試験受験
平成元年 税理士試験合格
平成13年 税理士登録
資産税に特化した税理士法人にて長年にわたり資産税業務担当
主に土地資産家の税務相談・相続案件業務に携わる
平成24年 独立開業(東京税理士会会員 麻布支部所属)
相続税の土地評価に関する各種資産税セミナー・税理士会支部
研修等の講師の実績も多数



セミナー概要 (一部抜粋)